

**平成 3 1 年定例会**  
**予算決算常任委員会防災県土整備企業分科会**  
**提 出 資 料**

○ 議案補充説明

I 平成 3 1 年度当初予算について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- ・ 議案第 1 6 号「平成 3 1 年度三重県水道事業会計予算」
- ・ 議案第 1 7 号「平成 3 1 年度三重県工業用水道事業会計予算」
- ・ 議案第 1 8 号「平成 3 1 年度三重県電気事業会計予算」

II 平成 3 0 年度最終補正予算について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

- ・ 議案第 9 1 号「平成 3 0 年度三重県水道事業会計補正予算（第 3 号）」
- ・ 議案第 9 2 号「平成 3 0 年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第 3 号）」
- ・ 議案第 9 3 号「平成 3 0 年度三重県電気事業会計補正予算（第 3 号）」

III 条例改正案について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 2

- ・ 議案第 6 8 号「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」
- ・ 議案第 6 9 号「三重県工業用水道条例の一部を改正する条例案」

平成 3 1 年 3 月 8 日

企 業 庁

# I 平成31年度当初予算について

## 1 予算編成にあたっての基本的な考え方

企業庁においては、三重県企業庁経営計画（以下、「経営計画」という。）に掲げた「県民の日常生活や経済活動に欠くことのできない広域的なサービスを提供することで、県民のくらしの安全・安心の確保や地域経済の発展に貢献する」という経営理念の実現に向けて事業運営を行っています。

平成31年度当初予算については、経営計画の取組を的確に進めていくことを基本におき、水道・工業用水道事業では、将来、発生が予想される南海トラフ地震などの大規模地震に備え、より一層、耐震化を進めるとともに、設備の老朽化対策等を着実に実施します。

電気事業では、引き続き、三重ごみ固形燃料発電所の安全かつ安定した運転に最優先で取り組みます。また、2019（平成31）年9月を軸にRDFの搬入が終了することを踏まえた取組を着実に進めていきます。

## 2 主な重点項目

### (1) 強靱な水道及び工業用水道の構築 予算額 11,829,769千円

大規模地震などによる被災を最小限にとどめられるよう、施設の耐震化をより一層進めます。また、将来にわたり水道用水及び工業用水を安定して供給できる状態を維持するため老朽化対策等に取り組み、強靱な水道及び工業用水道の構築をめざします。

#### ① 耐震化 予算額 3,413,974千円

南海トラフ地震などの大規模地震が発生した場合にも被災を最小限にとどめることができるよう主要施設等の耐震化を進めます。

- ・山村浄水場耐震化工事（四日市市）
- ・内径300 耗送水管布設替工事（四日市市） 他

#### ② 老朽化対策 予算額 3,470,246千円

水道用水及び工業用水の安定供給を確保するため、経年劣化した設備の更新などの老朽化対策を進めます。

- ・播磨浄水場受変電設備等取替工事（桑名市）
- ・内径1000 耗制水弁取替工事（四日市市） 他

③ その他（配水運用の強化など） 予算額 4,945,549千円

漏水発生時等においても安定した供給を確保するため、管路の複線化等の改良を行い、配水運用の強化を進めます。

- ・内径 1200 耗配水管シールド工事（四日市市）
- ・大里浄水場沈澱池等築造工事（津市）
- ・取水・導水施設整備測量調査等業務委託（桑名市） 他

（２）三重ごみ固形燃料発電所の安全・安定運転等 予算額 1,712,376千円

RDF製造団体などの関係者と連携し、RDFの品質管理の徹底を図るとともに、三重ごみ固形燃料発電所の安全かつ安定した運転に最優先で取り組みます。

また、2019（平成31）年9月を軸にRDFの搬入が終了することを踏まえ、施設の撤去設計等を着実に進めていきます。

- ・RDF焼却・発電施設運転等管理業務委託
- ・RDF焼却・発電施設定期点検整備業務
- ・RDF焼却・発電施設撤去設計等業務委託 他

### 3 水道事業会計【議案第16号関係】

#### (1) 予算額

(単位：千円)

項目	平成30年度	平成31年度	増減	備考(主な増減理由)
<b>収益的収入</b>	<b>9,462,457</b>	<b>9,617,670</b>	<b>155,213</b>	
営業収益	8,617,390	8,761,138	143,748	給水収益の増
営業外収益	845,067	856,532	11,465	他会計補助金の増
<b>収益的支出</b>	<b>9,183,335</b>	<b>9,390,271</b>	<b>206,936</b>	
営業費用	8,558,506	8,827,489	268,983	減価償却費の増
営業外費用	622,829	560,782	△62,047	企業債利息の減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	279,122	227,399	△51,723	
<b>純損益(税抜き)</b>	<b>33,325</b>	<b>31,102</b>	<b>△2,223</b>	
<b>資本的収入</b>	<b>296,888</b>	<b>1,938,907</b>	<b>1,642,019</b>	
補助金	57,934	374,565	316,631	他会計補助金の増
出資金	138,954	389,402	250,448	他会計出資金の増
負担金	—	24,940	24,940	工事負担金の増
長期貸付金償還金	100,000	1,150,000	1,050,000	他会計貸付金償還金の増
<b>資本的支出</b>	<b>6,016,277</b>	<b>6,276,477</b>	<b>260,200</b>	
建設改良費	3,638,857	4,049,690	410,833	中勢水道改良費の増
償還金	2,377,420	2,226,787	△150,633	企業債償還金の減
資本的収支差	△5,719,389	△4,337,570	1,381,819	

#### (2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
水管橋製作及び架設工事に係る契約	H32	384,769
制水弁設置工事に係る契約	H31～H32	70,000
取水・導水施設基本設計業務委託に係る契約	H31～H32	77,000
機械設備工事等に係る契約	H31～H33	1,592,771
電気設備工事等に係る契約	H31～H33	2,227,061
薬品注入棟建築工事等に係る契約	H31～H33	379,464
送水管布設工事等に係る契約	H31～H32	265,980
事業効果検討調査業務委託に係る契約	H31～H32	8,800
行政事務用機器賃借に係る契約	H32～H36	907
ストレスチェック業務委託に係る契約	H32～H33	212

#### (3) 主な重点項目

強靱な水道及び工業用水道の構築	予算額	4,003,849千円
① 耐震化		1,213,393千円
・内径300 耗送水管布設替工事(四日市市) 他		
② 老朽化対策		1,628,432千円
・播磨浄水場受変電設備等取替工事(桑名市) 他		
③ その他(配水運用の強化など)		1,162,024千円
・大里浄水場沈澱池等築造工事(津市) 他		

#### 4 工業用水道事業会計【議案第17号関係】

##### (1) 予算額

(単位：千円)

項目	平成30年度	平成31年度	増減	備考(主な増減理由)
<b>収益的収入</b>	<b>6,183,811</b>	<b>6,238,086</b>	<b>54,275</b>	
営業収益	5,627,026	5,863,348	236,322	給水収益の増
営業外収益	556,785	374,738	△182,047	受託工事収益の減
<b>収益的支出</b>	<b>5,988,605</b>	<b>6,021,560</b>	<b>32,955</b>	
営業費用	5,553,057	5,719,651	166,594	負担金の増
営業外費用	433,548	299,909	△133,639	受託工事費の減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	195,206	216,526	21,320	
<b>純損益(税抜き)</b>	<b>24,681</b>	<b>32,879</b>	<b>8,198</b>	
<b>資本的収入</b>	<b>4,337,724</b>	<b>5,712,219</b>	<b>1,374,495</b>	
企業債	3,680,000	5,191,000	1,511,000	企業債の増
補助金	334,400	186,200	△148,200	国庫補助金の減
出資金	298,364	276,009	△22,355	他会計出資金の減
負担金	24,960	59,010	34,050	工事負担金の増
<b>資本的支出</b>	<b>8,518,800</b>	<b>9,286,504</b>	<b>767,704</b>	
建設改良費	7,252,894	8,040,064	787,170	北伊勢工業用水道改良費の増
償還金	1,265,906	1,246,440	△19,466	企業債償還金の減
資本的収支差	△4,181,076	△3,574,285	606,791	

##### (2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
電気設備工事等に係る契約	H31～H32	248,050
制水弁取替工事等に係る契約	H31～H32	1,059,000
水管橋耐震補強工事に係る契約	H32	11,000
配水管布設工事等に係る契約	H31～H33	841,720
水管橋仮設配管工事に係る契約	H31～H32	58,688
行政事務用機器賃借に係る契約	H32～H36	1,606
ストレスチェック業務委託に係る契約	H32～H33	136

##### (3) 主な重点項目

<b>強靱な水道及び工業用水道の構築</b>	<b>予算額 7,825,920千円</b>
① 耐震化	2,220,581千円
・山村浄水場耐震化工事(四日市市) 他	
② 老朽化対策	1,841,814千円
・内径1000 耗制水弁取替工事(四日市市) 他	
③ その他(配水運用の強化など)	3,783,525千円
・内径1200 耗配水管シールド工事(四日市市) 他	

## 5 電気事業会計【議案第18号関係】

### (1) 予算額

(単位：千円)

項目	平成30年度	平成31年度	増減	備考(主な増減理由)
<b>収益的収入</b>	<b>1,359,543</b>	<b>741,550</b>	<b>△617,993</b>	
営業収益	1,315,325	666,585	△648,740	その他営業収益の減
営業外収益	44,218	21,294	△22,924	長期前受金戻入の減
特別利益	—	53,671	53,671	その他特別利益の増
<b>収益的支出</b>	<b>2,649,104</b>	<b>2,201,960</b>	<b>△447,144</b>	
営業費用	2,549,941	1,942,703	△607,238	修繕費の減
営業外費用	25,767	12,767	△13,000	消費税及び地方消費税の減
特別損失	71,396	244,490	173,094	減損損失の増
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△1,289,561	△1,460,410	△170,849	
<b>純損益(税抜き)</b>	<b>△1,202,186</b>	<b>△1,376,140</b>	<b>△173,954</b>	
<b>資本的収入</b>	<b>—</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	
長期貸付金償還金	—	500,000	500,000	他会計貸付金償還金の増
<b>資本的支出</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	
資本的収支差	—	500,000	500,000	

### (2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
施設撤去設計等業務委託に係る契約	H32	13,685

### (3) 主な重点項目

三重ごみ固形燃料発電所の安全・安定運転等 予算額 1,712,376千円

- ・ R D F 焼却・発電施設運転等管理業務委託
- ・ R D F 焼却・発電施設定期点検整備業務
- ・ R D F 焼却・発電施設撤去設計等業務委託 他

## Ⅱ 平成30年度最終補正予算について

### 1 水道事業会計【議案第91号関係】

(単位：千円)

補正前の額		補正額	補正後の予算額	補正項目		
収益的収支	収入	9,508,897	18,005	9,526,902	給水収益	12,096
					その他営業収益	△ 147
					受取利息	△ 230
					他会計補助金	1,391
					長期前受金戻入	4,356
					雑収益	539
	支出	9,087,070	△ 4,267	9,082,803	原水及び浄水費	△ 89,199
					配水費	△ 40,618
					業務費	△ 1,999
					総係費	△ 3,482
					減価償却費	△ 15,769
					資産減耗費	106,800
					消費税及び地方消費税	40,000
収益的収支差	421,827	22,272	444,099			
純損益 (税抜き)	168,595	43,832	212,427			
資本的収支	収入	347,781	△ 9,498	338,283	他会計補助金	3,600
					工事負担金	△ 13,098
	支出	5,721,591	△ 285,441	5,436,150	業務設備及び改良費	△ 1,150
					北勢水道改良費	△ 134,365
					中勢水道改良費	△ 76,959
					南勢水道改良費	△ 72,967
	資本的収支差	△ 5,373,810	275,943	△ 5,097,867	資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしています。	

## 【収益的収支】

(収 入) 18,005千円

収入についての補正は18,005千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

- 給水収益 12,096千円  
北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川用水系）などの使用水量の増
- 長期前受金戻入 4,356千円  
除却対象資産の精査による増

(支 出) △4,267千円

支出についての補正は4,267千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

- 原水及び浄水費 △89,199千円  
委託料や動力費などの減
- 配水費 △40,618千円  
委託料や動力費などの減
- 資産減耗費 106,800千円  
除却対象資産の精査による増

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、212,427千円の純利益になる見込みです。

## 【資本的収支】

(収 入) △9,498千円

収入についての補正は9,498千円の減額となり、内容は以下のとおりです。

- 他会計補助金 3,600千円  
補助対象事業費の増額による増
- 工事負担金 △13,098千円  
送水管路等測量設計業務委託の工事負担金の確定による減

(支 出) △285,441千円

支出についての補正は285,441千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

- 北勢水道改良費 △134,365千円  
内径 350 耗送水管布設替工事などの契約額の確定等による減
- 中勢水道改良費 △76,959千円  
高野浄水場受変電設備操作用直流電源装置取替工事などの契約額の確定等による減

## 2 工業用水道事業会計【議案第92号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的収支	収入	6,115,453	79,358	6,194,811	給水収益	15,143
					その他営業収益	△ 14,155
					受取利息	△ 136
					受託工事収益	△ 2,844
					長期前受金戻入	△ 3,372
					過年度損益修正益	84,722
	支出	5,655,301	△ 12,326	5,642,975	原水及び浄水費	△ 42,441
					配水費	△ 9,980
					業務費	1,243
					総係費	△ 687
					減価償却費	△ 15,775
					資産減耗費	△ 27,910
					支払利息及び企業債取扱諸費	△ 12
受託工事費					△ 2,844	
過年度損益修正損	86,080					
収益的収支差	460,152	91,684	551,836			
純損益 (税抜き)	263,332	85,992	349,324			
資本的収支	収入	4,304,534	△ 138,000	4,166,534	企業債	△ 138,000
	支出	8,454,226	△ 140,784	8,313,442	業務設備及び改良費	△ 250
					北伊勢工業用水道改良費	△ 75,961
					松阪工業用水道改良費	△ 51,001
					中伊勢工業用水道改良費	△ 13,572
資本的収支差	△ 4,149,692	2,784	△ 4,146,908	資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしています。		

## 【収益的収支】

(収入) 79,358千円

収入についての補正は79,358千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

- 給水収益 15,143千円  
北伊勢工業用水道事業などの超過水量の増加による増
- その他営業収益 △14,155千円  
工業用水道施設使用料などの減
- 過年度損益修正益 84,722千円  
過年度分固定資産除却費の修正増に伴う長期前受金戻入などの増

(支出) △12,326千円

支出についての補正は12,326千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

- 原水及び浄水費 △42,441千円  
委託料や動力費などの減
- 減価償却費 △15,775千円  
償却対象資産の精査による減
- 資産減耗費 △27,910千円  
構造物撤去工事などの契約額の確定等による減
- 過年度損益修正損 86,080千円  
過年度分固定資産除却費などの修正による増

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、349,324千円の純利益になる見込みです。

## 【資本的収支】

(収入) △138,000千円

収入についての補正は138,000千円の減額となり、内容は以下のとおりです。

- 企業債 △138,000千円  
北伊勢工業用水道改良事業などにおける起債対象事業費の減額による減

(支出) △140,784千円

支出についての補正は140,784千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

- 北伊勢工業用水道改良費 △75,961千円  
内径800 耗配水管布設工事などの計画変更等による減
- 松阪工業用水道改良費 △51,001千円  
新屋敷取水所構内配管布設替工事などの契約額の確定等による減

### 3 電気事業会計【議案第93号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的 収支	収入	1,414,930	73,305	1,488,235	電力料	70,687
					その他営業収益	2,413
					受取利息	△ 18
					雑収益	223
	支出	2,584,031	△ 141,753	2,442,278	RDF発電費	△ 142,124
					一般管理費	431
					支払利息及び企業債取扱諸費	△ 60
収益的収支差	△ 1,169,101	215,058	△ 954,043			
純損益 (税抜き)	△ 1,091,387	204,510	△ 886,877			

## 【収益的収支】

(収 入) 73,305千円

収入についての補正は73,305千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

○電力料 70,687千円

売電実績・見込みによる電力料収入の増

○その他営業収益 2,413千円

RDF搬入量の実績・見込みによるRDF処理委託料の増

(支 出) △141,753千円

支出についての補正は141,753千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○RDF発電費 △142,124千円

備用品費や修繕費などの減

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、886,877千円の純損失になる見込みです。

### Ⅲ 条例改正案について

#### 1 三重県水道供給条例の一部を改正する条例案【議案第68号関係】

##### (1) 改正理由

消費税法等の一部改正に鑑み、給水に係る料金の額を改定します。

##### (2) 改正内容

	改正案	現 行
料金の算定等	基本・使用・超過料金の合計額に百分の百十を乗じて得た額	基本・使用・超過料金の合計額に百分の百八を乗じて得た額

##### (3) 施行時期

平成31年10月1日から施行する。

#### 2 三重県工業用水道条例の一部を改正する条例案【議案第69号関係】

##### (1) 改正理由

消費税法等の一部改正に鑑み、工業用水の料金の額を改定します。

##### (2) 改正内容

	改正案	現 行
料金の算定	基本・使用・超過料金の合計額に百分の百十を乗じて得た額	基本・使用・超過料金の合計額に百分の百八を乗じて得た額

##### (3) 施行時期

平成31年10月1日から施行する。